

中部楽器技術専門学校 管楽器リペア科2年生

楽器修理・調整ボランティア 2012年2月13~17日 宮城県

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、吹奏楽活動に励む学生の方々にも甚大な被害をもたらしました。今なお、演奏活動が再開できない状況が続いており、本校も何か協力できることはないかと思案していました。その際、本校特別講師である秋山紀夫先生（日本吹奏楽指導者協会名誉会長）のご紹介により、被災した楽器の修理や調整訪問のため、本校管楽器リペア科2年生の学生が宮城県下の中学や高校、大学を訪問しました。

秋山先生を真ん中に、みんなで記念撮影！
学生15名、職員4名で宮城県へ向かいました。
仙台区・古川区・気仙沼区・石巻区の計11校の中学や高校、大学を訪問しました。



相手の目を見て、笑顔で対応。
じっくり相談に乗ることも大切♪
技術者でも、コミュニケーション能力は重要です。

楽器の状態をチェック。頭の中で作業工程を組み立てています。



楽器が直った感激は、本校学生にも伝わり思わず笑顔に♪
ホッすると同時に、充実感もわいてきます♪



本校学生はこのボランティア活動を通じ成長するとともに、訪問先の生徒さんたちの笑顔を見て、楽器技術の素晴らしさを再確認しました。
この貴重な経験を活かし、就職先企業でも頑張ります！！



みなさんからのお礼は、本校学生の励みです。ありがとうございました！

ボランティア活動に参加した学生にインタビュー♪♪

●参加したきっかけは？

「自分の技術が役に立つのではと考えたから。」
「リペア技術で人の役に立ちたいと思ったから。」
「困っている生徒さんの手助けになればと考えたから。」など

●ボランティア活動の感想は？

「楽器が直ると生徒さんがとても喜んでくれて良かった。」
「生徒さんが元気で、逆に元気づけられました。」
「とても勉強になり、またこのような機会があれば参加したいです。」
「生徒さんの喜んだ顔を見て、リペアをやっていて本当に良かったです。」
「とても内容が濃く、技術者としての責任を実感しました。」など

